勝高だより

発行
秋田県立雄勝高等学校
PTA研修部

思いやり

校長　佐々木　裕

美しきものの最たるは、「天に星、地に花、人に愛」。この言葉は明治時代の言葉だと言われていますが、現在にも当てはまる言葉であると思います。

夜空を見上げたときの無数にきらめく星、降り注ぐかのような天の川は見る者を圧倒します。大気が汚れ、照明で明るくなりすぎた都市部では、本物の星空にはなかなか出会うことが出来ません。幸い秋田は自然に恵まれていますので、高い山など空気が澄んでいるところでは、時とともに移り変わる満天の星空に感動することもできます。また、お盆の頃には神秘的な流星群を目にした人もいるかもしれません。大自然の不思議さと美しさには驚くことばかりでしょう。

また、この地上には本当に色とりどりの花が咲き誇っています。本校の正門から玄関に続く通路には、一年生の皆さんにより整備された花壇があります。その花が、朝は温かく我々を迎えてくれます。帰りにはやさしく見送り、いやしのひとときを与えてくれます。

そして愛(ここでは「思いやり」)という精神活動は人間を人間らしくしている最も大きな要素であると同時に、最高の美でもあると も言えます。美しいものを美しいと感じる心を常に携えていただきたいものです。

さて、世の中では「授業時間が足りない、授業時間をもっと増やせ」といった声も聞こえてきます。そんな中で本校が大切な授業を削り「勝高祭」を行うのはなぜでしょうか。それは通常の授業では学ぶことの出来ないことを「勝高祭」から学ぶことが出来るからです。実行委員会や学級といったチームの団結、他を思いやる心、協力して一つのことに向かう心、燃焼した後の達成感・充実感など得られるものはとても貴重なものばかりです。今年の「勝高祭」はいかがでしたか。皆さん一人ひとりが心に残る、多くのものを学び、身につけてくれたことと願っています。

さまざまな問題が浮き彫りとなっている現代、人の心の豊かさが、これからさらに問われていくことでしょう。思いやりと心のゆとりを持って活躍できる社会人となってくれることを期待します。

栄光の記録

県南総体陸上
一年　佐藤　優斗　四百M　三位
県南総体弓道
男子団体　一位
三年　片野　聖　三位
県南吹奏楽コンクール
小編成の部　銀賞
県南新人陸上
一年　佐藤　優斗　八百M　一位
県南新人弓道
男子団体　優勝
一年　小松　清　三位
全県新人陸上
一年　佐藤　優斗　八百M　二位
秋田県高等学校文芸コンクール
…東北新人陸上大会出場
【短歌部門】
一年　須田　七瀬　第二席
二年　佐々木紘子　佳作
二年　藤原　楓花　佳作
【俳句部門】
三年　小川　舞穂　佳作
…北海道・東北文芸大会出場
秋田県高等学校弓道新人大会
一年　越村　真菜　優秀選手
秋田県高等学校読書感想文コンクール
三年　小川　舞穂　県南　佳作

インターンシップに参加して

インターンシップを行って

二年A組　渡邉　優

私は、二日間「こまち農協秋ノ宮出張所」と「JAこまち雄勝」の二カ所で職場体験を行いました。

体験の内容は、地元の生産者が出荷する旬の野菜と果物をS・M・Lの各サイズに分け、四、五箱を機械を使って紐で固定する作業と、サイズごとの箱作りでした。

インターンシップを通して得たことは、何事にも積極的にスピーディに行動することの大切さです。今回学んだことを将来のために実行できるよう、これからも、勉強や部活動に精進していきたいと思います。

仕事は大変

二年B組　片桐　大貴

私は将来、福祉関係の仕事に就きたいと思い、平成園でのインターンシップを希望しました。

最初は、お年寄りへの接し方や、仕事への取り組み方がわからず、不安でいっぱいでしたが、介護士の方々のご指導で、気持ちが落ち着いてきました。しかし、普段は元気な私でも、なかなか利用者に自分から積極的に話しかけられませんでした。私が緊張していることを利用者も感じたようで、逆に話しかけてもらう程でした。日が経つうちに会話は弾むようになりましたが、コミュニケーションの大変さを感じた三日間でした。

東北大会から学んだこと

二年B組　佐藤　優斗

私は今回初めて八百M競技で東北大会に出場しました。場所は福島県の「東北みんなのスタジアム」という巨大なスクリーンがある大きな競技場でした。見慣れない景色の中、知らない高校生ばかりで練習するだけでも緊張して体が硬くなってしまいました。

特に私が出場する番が近付くと、極度の緊張で吐きそうになりました。しかし、開始二十分前になると、集中し始め、自分のレースプランを考えていました。結局決勝までは進むことができず、各県大会を勝ち上がった人たちのレベルの高さを実感しました。

私は今回の東北大会という大きな舞台で、とてもいい経験ができたと思います。これを機に忍耐力と精神力を高め、仲間と共にさらに練習に励み、よい結果を出せるように頑張りたいと思います。

北海道・東北文芸大会 秋田大会に参加して

三年A組　小川　舞穂

田沢湖温泉ゆぽぽで開催された今大会に参加し、授業以外でより深く文芸に関わることができて良かったと思います。

大会は講演会や分科会、表彰などがありました。私は俳句の分科会に参加し、自作の句を講評してもらったり、作り方の注意点を教えてもらったりして勉強になりました。また、県外の高校生と交流をして、一緒に俳句を作ったり、食事をしながら情報交換をしたりと、とてもいい刺激になりました。

講演の内容は『走れメロス』の友情について」で、作家の話術に引き込まれるとともに、本を読むときは、疑問を持って読むと、とても楽しく、考えが深まることを学びました。

この度、秋田県の代表の一人に選出して頂き、この大きな大会に参加し、同じ高校生でも様々な考えや発想があるのだと実感しました。こうした交流で自身の視野が広がり、大きく成長できたと思います。

雄勝高校初!!

第32回 秋田県高等学校文芸コンクール 第二席

二年B組　須田　七瀬さん

第二席に輝いた作品を掲載します。

「下校の気持ち」

道端に小さくかわいく咲いた君ひそかに揺れて「ここにいるよ」と

小雨降り自然のシャワーをあびる今日ぬれて帰ろうあの花のように

グラウンド響く校歌と鳥の声溶けた響きはそよ風になる

なお、須田さんは来年度開催される滋賀県大会に秋田県代表として選ばれ、参加する予定です。

ドイツ訪問団との交流

二年B組　小松　奏子

十月十六日、ドイツ訪問団が本校で弓道体験をしに来ました。言葉も通じない中、お互いに慣れない英語や、ジェスチャーを使いながらの交流でした。それでも訪問団のみなさんは、初めての弓道体験に真剣に取り組んでくれたので、短時間で有意義な国際交流ができたと思います。

このような機会はめったにないので、私たちにとって、とてもいい経験になりました。